



伊勢堂岱遺跡は、大館能代空港へのアクセス道路（県道）の建設に先立ち、平成4年に行われた遺跡があるかどうかを調べる分布調査で発見されました。



▲遺跡を迂回するようにつくられた空港アクセス道路

北秋田市には、約260箇所の遺跡が登録されていますが、分布調査が行われるまでこの場所が遺跡で

伊勢堂岱遺跡はユネスコ世界文化遺産への登録が近づいています。このコラムでは、伊勢堂岱遺跡について、発掘・保存など最新の研究を交え、改めて紹介したいと思います。

第2回 遺跡を残す英断



あることは分かっています。ただ、小ヶ田集落の方々は、土器や石器が地面に散らばっていることを知っていました。



▲伊勢堂岱遺跡発掘作業

平成7年と8年に秋田県埋蔵文化財センターが発掘調査を行いました。当然、土器や石器は大量に出土しましたが、発掘が進むにつれて、河原石が埋もれていることを不思議に思い、発掘を進めると環状列石（ストーンサークル）を検出しました。

さらに発掘調査を進めると、環状列石が3つ（環状列石A・B・C）も存在することがわかりました。

有名な鹿角市の大湯環状列石でも、万座環状列石と野中堂環状列石の2つであることから、3つもあることは全国でも例がない発見であり、その発掘成果が大手新聞社の朝刊一面を飾るなど、大きな話題になりました。

北秋田市学芸員



- 公民館活動
- 生涯学習
- 文化振興
- 学校
- スポーツ

～地域で学び、活動する皆さんを応援します～

北秋田市教育委員会



学びの広場



「地域の人々の背中を見て子どもは育つ」

～地域学校協働活動・活動推進員ネットワーク会議～

第2回活動推進員ネットワーク会議が、1月29日に市民ふれあいプラザで開催されました。

会議では、前半に昨年度文部科学省表彰を受賞した合川小学校と活動推進員の関源一さんが「学校と地域の連携・協働の取り組み」として事例発表し、後半には活動推進員が中学校区ごとに分かれ、地域と学校をつなぐ秘訣は何か、子ども達のために地域として何が出来るか等を話し合いました。

最後に佐藤教育長から「子どもは地域の大人を見



▲合川小学校の事例発表を聞く活動推進員で育つ。ぜひ、地域の方々の背中を見せてあげて欲しい」と話がありました。

地域の文化財を守る火災想定訓練を実施

～1月26日は文化財防火デー～

1月24日に市内4地区で火災想定訓練が行われ、文化財の愛護思想と防災意識を高めました。

国が毎年1月26日を「文化財防火デー」と定め、文化財を火災、震災、その他の災害から守るため、全国的に文化財防火運動が行われています。

森吉地区では、国指定重要文化財の金家住宅で実施され、地域住民と消防関係者約40人が参加し、消火器やバケツリレーでの初期消火、放水などを行いました。また、葛黒の庚申神社（鷹巣地区）、木



▲バケツリレーで初期消火を行う様子（金家住宅）戸石の樹温寺（合川地区）、根子児童館（阿仁地区）でも同様の訓練が行われました。

きらめくガラス彫刻「石屋さんのサンドブラスト」

～合川公民館定期講座「ものづくり講座」～

7回目の合川公民館定期講座「ものづくり講座」が1月28日に合川保健センターで行われ、20名が受講しました。この講座は、テーマに沿って毎月異なる工芸品やアート作品など、ものづくりを行なう講座です。

今回は、合川地区で石材店を営む木村留美子さんと信人さんを講師に迎え、石材店の砂を吹きかけて彫刻を施す技術を活用したオリジナルグラスを作りました。受講生は、カッティングシートをグラス



▲先生の説明を熱心に聞く受講生に貼ってそれぞれデザインをし、後日でき上がったオリジナルグラスを手にして笑顔が溢れました。